

神奈川県立保健福祉大学における ヒューマンサービス研究会の設立について

The organization of the study group of the Human Services.

臼井正樹

USUI Masaki

神奈川県立保健福祉大学

(Kanagawa University of Human Services)

神奈川県立保健福祉大学は、平成15年4月1日に、看護学科、栄養学科、社会福祉学科、リハビリテーション学科の4学科からなる公立大学として、ヒューマンサービスの理念に基づき開学しました。

平成19年3月には、学部の1期生が卒業し、平成21年3月には大学院保健福祉学研究科(修士課程)の修了者も巣立ちました。

公立大学としての設置目的の一つに、地域貢献があり、神奈川県立保健福祉大学では、神奈川の保健医療福祉の向上のため、教職員と卒業生、大学院の修了者が一体となって取り組んでいく枠組みづくりが求められています。

大学では、平成20年秋にヒューマンサービス専門部会を設け、研究会の設置に向けた検討を行うとともに、平成21年4月からは、専門部会にかえて、ヒューマンサービス研究会設立準備会を有志教員により設置し、設立準備に向けた検討を行ってきました。

7月に行われた第3回ヒューマンサービス研究会設立準備会で、9月19日(土曜日)に「ヒューマンサービス研究会設立準備セミナー」を以下のように開催することとしました。

- 1 基調講演 東京大学特任教授 村上陽一郎
「実践知としてのヒューマンサービスへの期待」
- 2 ヒューマンサービス研究会立ち上げへの期待
 - ・ 韓国仁済大学 副教授 朴貞蘭
「東アジアからの課題提起」
 - ・ 立命館大学人間科学研究所長 望月 昭
「対人援助学とヒューマンサービス」

3 県立保健福祉大学における取組み

- ・ 看護学科 村上 明美 教授
- ・ リハビリテーション学科 鶴見 隆正 教授

平成21年9月19日(土曜日)に予定通りセミナーを開催し、外部からの方も含め、120名がこれに参加しました。セミナーの最後では、ヒューマンサービス研究会設立に向けた大学における取組みの経過を報告するとともに、ヒューマンサービス研究会の設立についてフロアの参加者に語り、拍手をもって承認されました。

研究会を立ち上げるにあたって私たちは、研究会では、人を支援する、援助するということを目的とした様々な教育・研究・実践を対象とする、研究会において取り組まれる教育・研究・実践は、他職種の連携を意識し、様々な関係者の協働のもとで行われるのが望ましいと考えています。

今後、研究会では、「ヒューマンサービス」に関する教育・研究・実践の成果を、セミナーの開催、ジャーナルの発行を通して、神奈川内の保健医療福祉に携わる皆さんと共有していくこと、教職員、卒業生、大学院修了生、実習先の皆さんなど、ヒューマンサービスの教育・研究・実践に関連する多くの方々とともに活動できる研究会とすることなどを目指していきたいと考えています。